

令和4年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	数的根拠	総事業費(円)	交付金活用額(円)
1	感染症対策必需品整備事業	総務課	市庁舎内において職員他が感染予防のため、また不特定多数の者が触れる機会のあるカウンター等の消毒に使用するための消毒液を購入し、市民も利用する庁舎等の感染拡大の防止に努めた。 また、公用車の運用に際し、訪問時の感染防止に努めるために、除菌ウエットティッシュを購入し感染拡大防止に努めた。	接触による感染拡大のリスク低減に寄与し、庁舎内でのクラスター発生を防ぐことができた。	庁舎使用分 224L 車両管理利用分 除菌ウエットティッシュ本体2個、詰替用139個を購入し、設置した。	4,144,726	3,146,000
		関本保育所	園内の行事等で使用するテントを一つ追加し、感染防止のためのソーシャルディスタンス確保とし、接触機会の軽減を図った。	テント数ふやしたことでソーシャルディスタンスを確保できたため、集団感染を防ぐことができた。また、親子で使用する際でも一つ増やしたからこそ、保育内での感染リスクが減った。	購入後のイベント実施回数：8回		
		農林水産課	消毒用アルコールを購入し、多目的集会所の利用者の感染予防を図る。	購入した消毒用アルコールを施設に設置したことで、感染予防を図りながら施設を利用してもらうことができた。	消毒用アルコール（17L×2缶）を購入し、多目的集会所計4施設に設置した。		
		都市計画課	都市計画課で管理している「ステーションりぷる」等の施設において使用する消毒液及びペーパータオルを購入し、設置することで感染症予防対策を行った。	感染症対策に必要な消毒液等を設置し、施設使用後に使用することで感染症予防に役立った。	消毒液（アルボナース本体1L）を設置した。		
		消防本部	新型コロナウイルス感染症対策により使用数が増加した感染防護衣、N95マスク、各種消毒用消耗品・備品等を整備した。	消耗品等を有効に活用し、職員の感染対策が図られた。	感染防護衣（上下）370着・ニトリルグローブ・N95マスク等310箱・消毒用消耗品47本・医療廃棄物管理物置1台を整備した。		
		教育総務課	感染症の予防及び拡大防止のため、手指用アルコール消毒液、抗原検査キットを購入した。	市内小・中学校にアルコール消毒液等を配布することにより感染を予防し、抗原検査を活用することで感染拡大防止に役立った。	手指用10104本、手指用50151本、給食用17061缶、シャボネット5kg53本、シャボネット18kg6箱、抗原検査キット500個を整備した。		

令和4年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	数的根拠	総事業費(円)	交付金活用額(円)
1	感染症対策必需品整備事業	生涯学習課	感染予防を図るために施設や手指の消毒に必要な消毒液、センサー式ディスペンサー、キッチンペーパー等を購入した。	感染予防を図りながら事業を継続するため、必要な消耗品を購入し活用することで、感染拡大防止が図れ安心安全に事業が実施できた。	各施設にセンサー式ディスペンサー（消毒）を10台購入した。また、各施設で必要な消毒液及びキッチンペーパーを購入し、施設内に整備した。	4,144,726	3,146,000
		図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策のため、図書資料や視聴覚資料を除菌するための専用アルコール除菌剤や館内除菌清掃に使用する洗剤や手袋、雑巾等を購入。</li> <li>・卓上のアクリルパーテーションを購入し閲覧席に設置した。</li> </ul>	感染予防対策を講じることで、安心して利用できる環境を整えることができ、利用の促進につながっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリルパーテーション2台</li> <li>・手指消毒用アルコール3本</li> <li>・アルコールディスペンサー3台</li> <li>・図書用除菌剤6個</li> <li>・視聴覚資料用除菌剤12本</li> <li>・イオンブライト3本</li> </ul> 以上を施設内に整備した。		
2	新型コロナウイルス感染症対策事業	健康づくり支援課	新型コロナ感染症対策の啓発事業として、感染者が自宅療養した場合に備えた備蓄品のリストを記載したパンフレットを作成し、新聞折込と、乳幼児健診に来所した保護者に配布した。	備蓄チラシを配布したとにより、新型コロナウイルスの感染した際、事前に食料等を備蓄することによって、食料等に困ることなく療養期間を過ごすための普及啓発が出来た。	作成部数：30,000部 新聞折込及び市内企業や事業所、施設へ配布した。	370,460	281,000
3	公民館管理事業	生涯学習課	各公民館のパソコンが経年劣化のため買い替え時期であったため、感染防止対策のため、ウェブ会議が可能な機器を購入した。	全国公民館研究集会等のウェブ会議に参加することができたことで、感染防止対策を実施しながら、社会教育指導員の資質向上が図れた。	各町公民館にウェブ会議対応のパソコンを7台整備した。全国公民館会議にて1回ウェブ会議を実施した。また、市役所との連絡手段でも複数活用。	1,178,870	895,000
4	市民病院新型コロナウイルス感染症対策事業	病院経営企画課	新型コロナウイルス感染症患者数の増加に伴い、感染症外来等の体制及び院内の感染予防対策を強化・拡充した。	市民病院正面玄関前での症状の確認、感染疑いがある患者の誘導、手指消毒や体温測定補助等を行い、院内感染を防止した。 また、電話交換手を増員し、感染症外来の問い合わせや予約等に対応できる体制を強化した。	令和4年度感染症外来受診者数 7,592名 対応	11,727,000	8,901,000
5	道路新設改良事業（ウォーキングロード整備工事）	建設課	外出自粛などの影響を踏まえた健康づくりに関心が高まる中、安全に地域の商店街等を周遊するウォーキングロードを設置し、市民の健康づくりを促進する。	ウォーキングロードの整備により、屋内公共施設の制限がある中で、安全に地域を周遊することが可能となり、利用者が増加し、市民の健康づくりの促進につながった。	健康ポイント事業アンケートを実施し、参加者全体の40.6%が利用。	73,007,000	55,412,000

令和4年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	数的根拠	総事業費(円)	交付金活用額(円)
6	庁舎管理事業 小学校施設管理事業 中学校施設管理事業	総務課	本庁舎内の男子トイレ小便器に後付自動水栓22台を設置した。	手指の接触機会を減らすことで、感染症感染リスクを低減させることができた。	市庁舎1F:7台、2F:6台、3F:6台、4F:3台、計22台を設置した。	10,866,900	8,248,000
		教育総務課	小中学校における感染症予防対策を強化するため、小便器の自動水栓化を実施した。	非接触型の自動水栓に切り替えたことで、感染症予防対策の強化が図られた。	小学校8校の167箇所、中学校2校の56箇所に整備した。		
7	成人式施設管理事業	生涯学習課	新型コロナウイルスの感染を防止するため、成人式の祝典会場をあゆみドームに変更することで密の回避を図るとともに、祝典に参加出来ない新成人等に動画配信する。また、出席を希望する新成人の抗原検査を実施した。	会場を変更したことで密の回避及び抗原検査実施により感染対策徹底され、また、出席できない新成人や保護者も祝典の様子を動画で見ることができ感染拡大防止が図れた。	開催場所の変更及び抗原検査キット590個購入し配布した。 動画の撮影を期間及び視聴者限定で配信をした。	1,292,612	981,000
8	教育支援事業	学校教育課	市内全小中学校の校外学習における感染予防を図るため、中学校修学旅行の方面変更に伴うキャンセル料の補助、事前・事後の抗原検査実施のための検査キット代の補助、密回避のためのバス増便代等の補助を実施した。	貸し切りバスを活用した近郊圏での中学校修学旅行の実施、活動前後の抗原検査の実施、密回避のためのバスの増便等を行ったことで、感染者の把握及び感染予防が図られ、安全・安心な活動環境を提供することができた。	中学校生徒327人分の修学旅行企画料キャンセル代の補助、抗原検査キット代(小学校604回分、中学校660回分)の補助、校外学習バス増便代及び中型バスから大型バスへの変更代(16台)の補助を実施した。	3,835,036	2,911,000
9	生活応援商品券配布事業	商工観光課	コロナ禍における地域経済の打撃、原油価格・物価高騰による個人や世帯での生活を支援するために、市民1人に対して5,000円分の商品券を配布し、市内事業者内で使用できるように限定することで、合わせて市内事業者支援として実施した。	新型コロナウイルス感染症の長期化や原油価格及び物価高騰の影響を受けている市民の生活支援及び地域経済の活性化を図ることができた。	市民41,644人に対し1人5,000円分の商品券を配布した。 ・商品券換金分 202,121,000円 ※換金率 97.1%	215,863,587	189,941,000

令和4年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	数的根拠	総事業費(円)	交付金活用額(円)
10	事業者支援一時金事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の長期化や原油価格及び物価高騰の影響を受け、2019年～2021年いずれかの年の同月比で30%以上売上が減少、または2019年～2021年いずれかの年の経常利益と比較して、10%以上減少している中小企業者及び個人事業主へ20万円を給付した。	新型コロナウイルス感染症の長期化や原油価格及び物価高騰の影響を受けている事業者に対し、市独自の給付金を支給することで、事業の継続支援につなげることができた。	事業者430件に対し、一事業者あたり200,000円を給付した。	86,004,978	75,677,000
11	宿泊促進事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の長期化は、地域経済へ甚大な影響をもたらしている状況であったため、本市が有する豊富な観光資源を活用し、地域経済の活性化を図ることを目的として、宿泊旅行者への支援事業を実施した。	宿泊旅行者への助成を実施したことにより、多くの旅行者を本市に誘客することができ、地域産業を活性化させるとともに本市観光の魅力を広く周知することができた。	助成額：2,000円（1泊1万円以上の旅行商品に対し） 利用者総数：12,661人 登録宿泊事業者：19者	25,322,000	22,280,000
12	新型コロナウイルス感染症対策事業	健康づくり支援課	新型コロナウイルス感染症の感染で、母子世帯や困窮した世帯の自宅療養者を支援するため、備蓄用の食料と乳児紙おむつを購入し、申請があった場合に配布する。	宿泊療養施設に入所した母子世帯1件に対し、紙おむつ等を届け、生活の安全に寄与した。	<購入物品（配布）> 乳児用紙おむつ 1セット 備蓄食品セット3日分6箱 アルファ米白かゆ 1箱	67,792	51,000
13	児童措置事業（物価高騰対策支援金）	子育て支援課	近時の急激な物価の高騰等が、教育・保育施設等の健全な活動を阻害する要因となり得ることに鑑み、教育・保育施設等により提供される教育又は保育の質の確保及び向上を図るために、当該教育・保育施設等に対して臨時的な支援を行った。	教育・保育施設等に対して臨時的な経済的支援を行うことで、当該施設等により提供される教育又は保育の質の確保及び向上を図ることができた。	500円×12,817人 （令和4年4月から令和5年3月までの各月初日の在籍児童数※市内在住児童に限る）	6,408,500	6,152,000
14	小学校施設運営事業 中学校施設運営事業	教育総務課	GIGAスクール構想に基づき、児童・生徒1人に1台のタブレットPCを全小中学校に配備した。	感染拡大による臨時休校に備え、児童・生徒の学習機会を確保することができた。	タブレットPCを小学校に1,870台、中学校に1,272台配備した。	72,020,016	54,663,000
合 計						512,109,477	429,539,000